

イエメンの民族抹殺

【訳者注】イエメンのこの同じ問題はここで何度か扱った。一般市民が標的にされ、ジェノサイド（民族抹殺）が進行中であるというのに、世界は、アメリカとその同盟諸国に、礼を尽くし（！）あるいは怖れて、沈黙しているということ——これは、子供の社会で、ガキ大将が特定の子供をいじめれば、他の者たちは安全のために、それに加勢するか、そっぽを向いて知らん顔をするのに似ている。今、世界全体が、この子供のいじめの社会になっている。これだけ情報が豊かな世の中で、知らなかったとは言わせない。これは神の目から見れば、人類抹殺に値するような犯罪の光景であろう。日本人も間違いなく犯罪者の一部である。私はそのようなことが近く起るものと、期待はしないが、予想はしている。

By Stephen Lendman

Information Clearing House, September 20, 2015



イエメンはオバマの戦争である——冷血の民族大虐殺、大量破壊であり、これは戦闘が3月下旬に始まるずっと前から、サウジアラビア、UAE、他の湾岸諸国、それにエジプトを使って、彼の汚い仕事をやらせるように計画されていた。

住宅地区、病院、学校、その他の非軍事的な目標への爆撃テロが、今も続いている。

米 - サウジの強制したバリケードによって、食糧、医薬品、燃料、清潔な水、その他、必要不可欠なものが、必死にそれを求める人々に届かなくなっている。「人権ウォッチ」は、今行われていることは「戦争の武器としての市民の餓死に相当する」、つまり奪うことによる民族抹殺だと言っている。

「セイブ・ザ・チルドレン」の **Mark Kaye** によれば、「現在のところ、国の北部と中央部に、あと 6 週間分の燃料しか残っていない。」まだ作業を続けている病院では、その業務のために発電機を動かすための燃料がなくなっている。

国連の人道問題および緊急救助担当の事務副総長 **Stephen O'Brien** は、イエメンにおける人々の苦しみの規模を、「ほとんど理解不可能なほど」だと言っている。

2,000 万人以上のイエメン人が、飢え、渇き、深刻な怪我や病気のための医療の欠乏のために、死ぬかもしれない。

西側のメディアは無関心で、アメリカのつくり出した、増え続けるホロコーストをほとんど無視している。ほとんど沈黙に近いものが、この毎日の見出しに値する出来事と、オバマの最も新しい帝国プロジェクトへの糾弾に、取って代わって支配している。それはイエメンの主権を破壊し、いかに多くの人命が失われ、莫大な破壊や、口に言えない人間の悲惨があっても、アメリカの操作する傀儡指導者を、権力の座に戻すというプロジェクトだ。

公式の死傷者数は、実際の数をはるかに低く見積もっている。おそらく何ヶタもの違いがあるだろう。犠牲者が苦しんでいるところは、見ることも考えることもできない。そのほとんどは非戦闘員の、一般市民、女や子供たちである。

死傷者の数は、連日上昇している。人々は食糧不足、飲料水不足や、医療品や治療がないために死んでいる——おそらく、すでに数千人が死に、戦争が終わるまでには数百万に達するかもしれない。

9 月 15 日、国連の民族虐殺防止特別アドバイザー **Adama Dieng** と、保護責任に関する特別アドバイザー **Jennifer Welch** は、「現行のイエメン紛争が一般市民におよぼす、増大していく被害と、この住民への脅威について国際社会がほとんど沈黙していることに、憂慮を表明した。」

「この暴力を終わらせ、差別なく、すべての住民への人道主義的なアクセスを確保するための、戦闘の政治的解決を見出す、当事者たちの真剣な参加がなければ、この状況は更に悪化する可能性がある。」

大きな戦争犯罪と人道に対する罪が、毎日、犯されている。一般市民が無差別に虐殺されている。

「(国連) 特別アドバイザーたちは、主たる責任を負う諸国家の政府に対し、イエメン人民を保護するように要請した。国際社会は、大量虐殺、戦争犯罪、民族抹殺計画、および人道に対する罪から、住民たちを守る責任がある。」

今起こっている大量虐殺や人間の苦しみは、ほとんど無視されている。イエメン市民の恐るべき死者数は、日ごとに増している——リヤド(サウジ政府)の、禁止されている化学兵器やクラスター爆弾の使用によって、事態は更に悪化している。

UNICEFは、一日に8人の子供が、殺されるか、重い障害を負わされていると報告している。おそらく実際の数字はそれをはるかに上回り、更にそこへ、年齢を問わず、数百万のイエメン人の急性栄養失調による、壊滅的な死を加えねばならない。

イギリスはオバマの戦争の共謀者であり、サウジアラビアに、ワシントンと同じように恐ろしい兵器を売りつけている。何日か前に、Oxfam(世界の貧困をなくする団体)の会長Mark Goldringは、「イエメンは人道的な災害の中に落ち込み、人民は餓死の危険に瀕している。そしてイギリスは、武器の輸出と、爆撃作戦への軍事援助によって、物理的にそこに加担している」と言った。

「(英) 政府はこの戦争を支援するのをやめ、大量殺人を終わらせるあらゆる努力をすべき時だ。彼らは、耐えられない人間の苦しみの火に油を注いでいる。」

「この政府は最近、この条約を国家法に組み入れたところだが、それにもかかわらず、新法の最初のテストで、彼らは、潜在的な彼らの武器と援助の誤った使用の、山ほどの証拠に、目をつぶってしまった。」

(新しい英野党党首) Jeremy Corbynは、イギリスの「ストップ・ザ・ウォー連合」の議長である。連合は、今年春、米主導でサウジ先導のテロ爆撃が始まったとき、厳しい口調の声明を発表してこう言った——

「ストップ・ザ・ウォー連合は、サウジの先導するイエメンへの攻撃を、英国政府が支援していることを強く非難する。この戦争は中東の、更なる不安定化をもたらす侵略行為であり、この地域とその住人たちを、更に広範囲な戦争に巻き込むものだ。」

「サウジアラビアは、今、現行のイラクへの、アングロ-アメリカンの爆撃への参加をはじめ、中東のほとんどすべての反民主主義化の展開において、リーダー役を演じている。我々はここで、イギリスは、独裁的で圧政的なサウジ政権との連帯を切り、兵器の

供給をやめるべきだという、我々の長い間の要求を繰り返す。」

「このイエメンでの現在の紛争は、サウジアラビアと西側諸国双方が、“アラブの春”のもたらした民主主義の潜在性を、一国また一国と、次々に破壊していこうとする決意を反映している。」

「イエメンの人民だけが、自国の危機を解決し、自分たちの未来を決定することができ、かつ、彼らの独立と領土保全は、完全に尊重されねばならない。」

Bernie Sanders（米保守派議員）は、ワシントンの戦争機械を支持し、現在行われている大量虐殺と破壊を非難することを拒否し、イエメンで増大しているホロコーストを無視している。それどころか彼は、サウジが、もっと大規模に地域紛争の舞台に関わること——すでになされたより以上の殺戮と破壊と人間の悲惨——を奨励している。

共和党・民主党のすべての大統領野望家たちは、アメリカの世界制覇野心を支持する者たち——カラー革命と民族抹殺戦争を、これまで通りに成し遂げようとする者たちである。